



デビュー50周年記念 千住真理子 ヴァイオリン・リサイタル



デビューから50年のヴァイオリニスト人生。

山あり谷ありの険しい道のりを、疾走したり歩いたり、時に道に迷い遭難すればひとに助けられ、涙流せば友達がそばにいてくれた。

苦楽を共にした父母も恩師も、今はもういないけど、相棒ストラディヴァリウス“デュランティ”がいてくれる。

いま奏でる音は、この50年のわたしの全て。

この音色をあなたの心に届けたい。精一杯の「ありがとう」をこめて——

千住真理子

千住真理子 ヴァイオリン

Mariko Senju, Violin

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共に12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノボリに認められ、1987年ロンドン、1988年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」<完全版>を再リリース。2021年「蛍の光～ピースフル・メロディ」、2022年「ポエジー」、2023年千住明のプロデュースによるアルバム「ARIAS」をリリース。また山田洋次監督作品「こんにちは、母さん」のサウンドトラックに参加。2024年は9月にデビュー当時の音源も収録した「ベスト&レア」アルバムをリリース。2025年はデビュー50周年を迎える全国で演奏会を行う。春にはデビューアルバムと同じくCD「メンデスルゾーン&チャイコフスキイ:ヴァイオリン協奏曲」を発売。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト 20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。千住真理子オフィシャル・ホームページ <https://marikosenju.com/>



中山惇史 ピアノ

Atsushi Yamanaka, Piano

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。

2020年に高橋優介とのピアノデュオ『176』(アンセットシス)を結成。

自らの編曲によりオーケストラ作品の演奏に挑み『レスピーギ/ローマ三部作』をメインに演奏会を開催、同時にカワイ出版より楽譜出版、レコーディングもされた。2023年2月には2作目となるアルバム『ショパン-旅路-』を日本コロムビアより発売。

X(旧Twitter):@ginyamagin

Instagram:@yamanaka.atsushi

ルネこだいら 小平市民文化会館

〒187-0041 東京都小平市美園町1-8-5
TEL: 042-345-5111 FAX: 042-345-9951

ルネこだいらチケットカウンター 042-346-9000
電話予約 9:00~17:00 窓口販売 9:00~19:00
ルネこだいらインターネットチケットサービス
※事前登録(無料)が必要です。

ルネこだいら

[最寄りの交通機関]

■電車

・西武新宿線「小平駅」南口から 徒歩3分

■バス

西武バス・銀河鉄道バス・都営バス 「小平駅南口」下車、徒歩3分

・国分寺駅北入口～(学園東町経由)～小平駅南口

・国分寺駅北入口～(松ヶ丘住宅経由)～小平駅南口

・国分寺駅北口～(中央大学附属中学・高等学校経由)～小平駅南口

小平市コミュニティバス(いじバス)「ルネこだいら」下車、徒歩1分

ルネこだいらHP

